

女は、

デガー、

フッサー

ル

ヤスパースを師として

30年代初めのドイツでハイ ユダヤ人家庭に生まれた彼

とを引き受ける。

哲学者ハンナ・アーレントは、

ヨーカー』誌に世紀の裁判の傍聴記を書くこ

ムの法廷に立たされた。

米国に亡命してい

た

ザ・

ヤ人を死の収容所に移送した罪でイェ

ル

计

抑留され、

強制収容所に送られる寸前に脱出 亡命先のフランスでもキャンプに

した経験があった。



監督・脚本/マルガレーテ・フォン・トロッタ 脚本/パメラ・カッツ 撮影/キャロリーヌ・ドレ・マーゲンターラー 製作/ベッティナ・ブロケンパー ヨハネス・レキシン 出演/バルミルベルク ジャネット・マクティア ユリア・イェンテ クラウス・ボールほか 2012 年ドイス 114 分 ドイツ語、英語 2012 年ドイツ映画賞作品賞銀賞・主演女優賞受賞

● 10 月 26 日より東京・神田神保町岩波ホールにてロードショウ 配給/セテラ・インターナミ 出演/バルバラ 2012 年ドイ ©2012 Heimatfilm GmbH+Co KG

る小役人のそれだった。

ハンナはそれを

の陳腐さ(バナリティ)」と呼び、

無批判

というイメージからは程遠い、

ヒトラー

「悪の化

そ彼女が見たアイヒマンの姿は、

ムラーの命令とナチスの法律を金科玉条とす

を可能にした、と主張した。 行った彼らの態度が、

ロッパの多くの地域でユダヤ人の指導者た

思考のままシステムの歯車に組み込まれて

ナチスの未曾有の

犯罪

彼女はまた、ヨー

機関モサドにより拉致されたナチ戦犯アドル \*潜伏先の アイヒマンは1961年、 アル ゼンチンでイスラエ 数百万のユダ ル の特務

> という非難の大波がまき起こる。 判する。『ザ・ニューヨーカー』 ちが心ならずもナチスに協力したことが、 罪を軽減するのか」 まると、ユダヤ人社会を中心に ロコーストの犠牲の規模を大きくした、 映 「彼女は同胞を裏切 「ナチ戦犯の の連載が始 った」 と批 ホ

記憶がまだ生 被告席のアイヒマンの姿は実物のニュ アイヒ は波乱に満ちたハンナの一 マン裁判前後に絞って描かれる。 人びとの議論の熱気は、 々し い当時の 雰囲気を伝える。 生 のうち、 大戦の ース映

この

発表するなど、 刻な問題と正面から取り組んだ作品に資金提 年かかったという。 る。 難い作品だった。 としての彼女の人間性 に立って反論する。 学からも辞職を勧告されるが、 供者がいたことに、 人物を扱った『ローザ・ルクセンブルク』 在の過激派女性とその姉の人生を描いた忘れ マの旗手の一人として活躍。 面はフィクションらしいが、 ア映画祭金獅子賞を得た『鉛の時代』 ンナは多くの友人を失 今作品では、 70年代末から所謂ニュージャーマンシネ 942年生まれのM・V・ に心打たれずに見ることは難しい。 製作資金を調達するのに8 86年にはドイツ革命の中心 つも困難なテーマに挑戦 まだ世界は捨てたもの 8分間にわたる講演の場 それでも、このように深 バルバラ・スコヴ 勇気ある知識 81年ヴェネツィ 勤務して トロッタ監督 屈せずに教壇 を

たび世界に続出、 推し進めていた史実に思いをめぐらさずには チスと同盟を結び、 いられない。 たちとしては、アイヒマンの時代、 により人間たり得る」という思想だった。 はないと考えるべきかも知れない。 ンナが訴えたのは、 慄然とせざるを得ない。 判断停止に陥った小アイヒマンがふた と同時に、 格差拡大の進行する中で、 跳梁跋扈している現状を思 アジアで非人間化政策を 70年後のいま、 「人間は考えること 日本が 情報 ナ

(もとの・よしお/本誌編集委員)